

3D中心マークチュートリアル

3D中心マーク_チュートリアル.zip



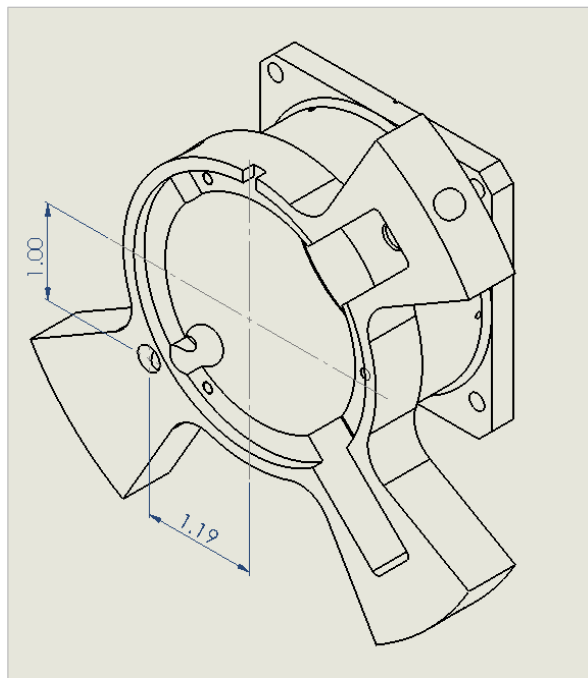
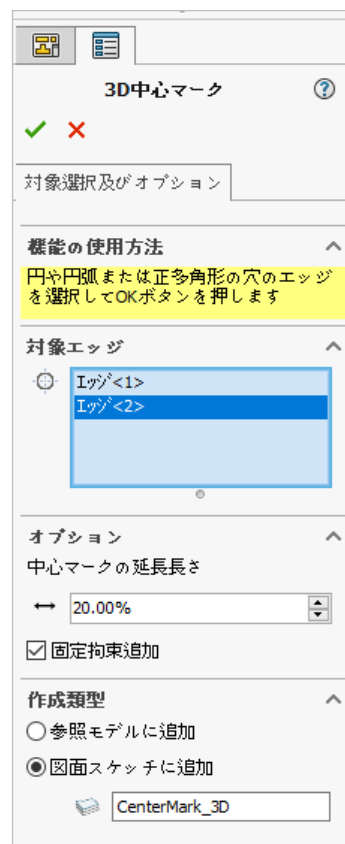
主な機能

- 3D配置で構成されたビューで中心マークを入力
- 参照モデルに寸法入力が可能
- 別途レイヤーに追加して表示／非表示の管理に容易

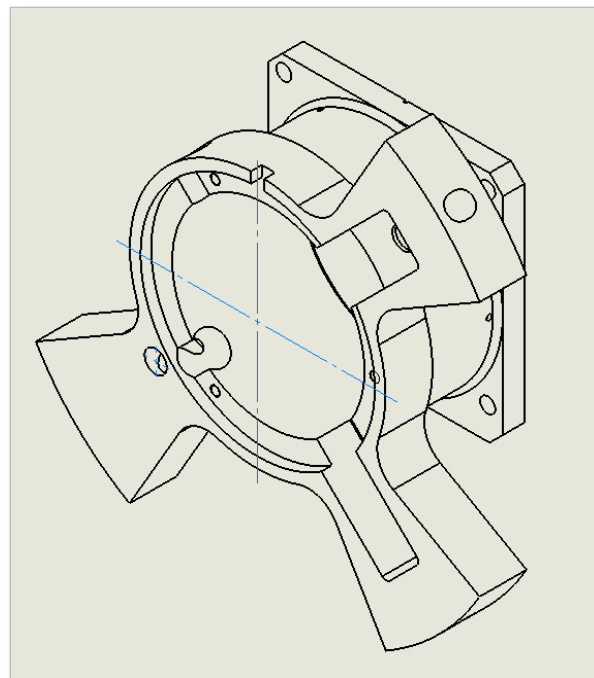
業務効果

- 手作業で計算する不便を解消
- 3D配置で中心マークや寸法を入力して理解度の高い図面を作成

🎯 レッスン目標：レッスンを真似しながら3D中心マークの使用法を学ぶ



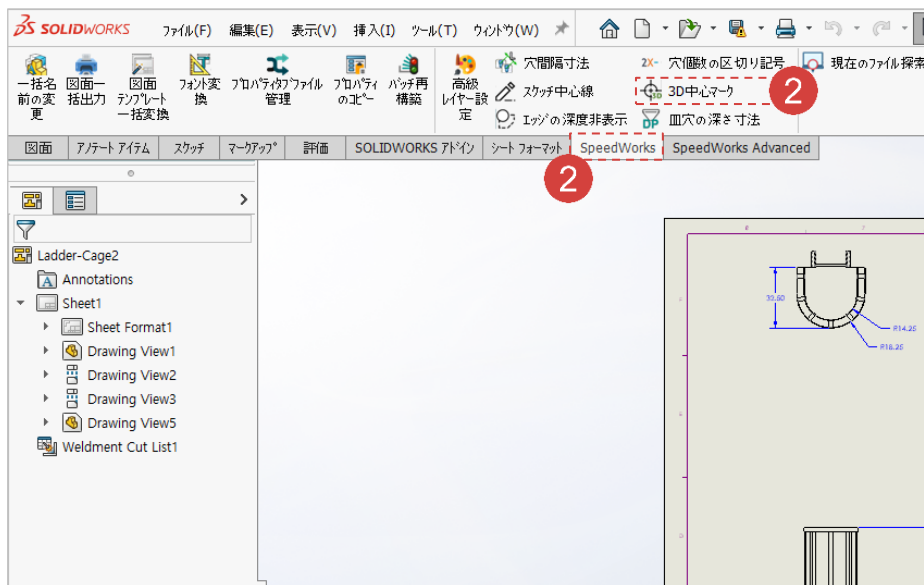
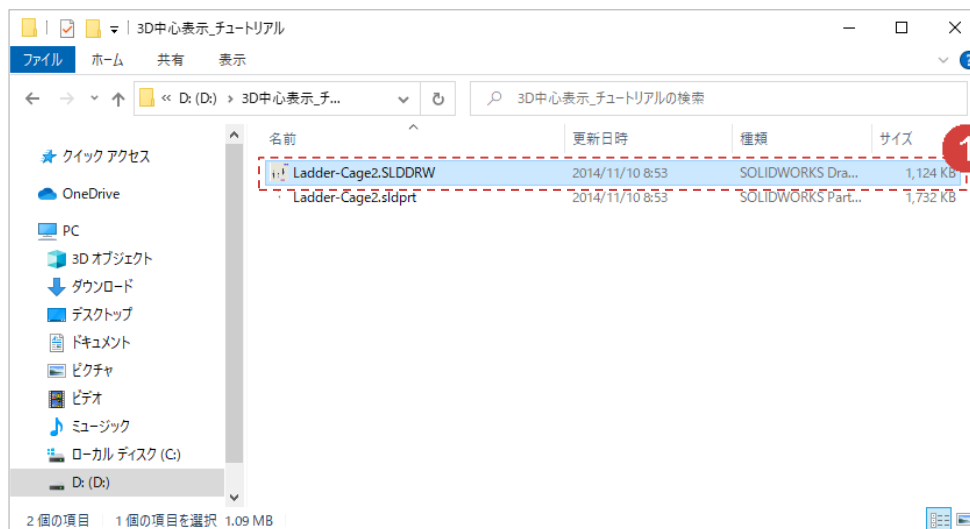
〈参照モデルに追加された中心マーク〉



〈図面スケッチに追加された中心マーク〉

① 例題のファイル中 Ladder-Cage2.SLDDRW を実行します。

② [SpeedWorks]タブ-[3D 中心マーク]をクリックしてツールを実行します。



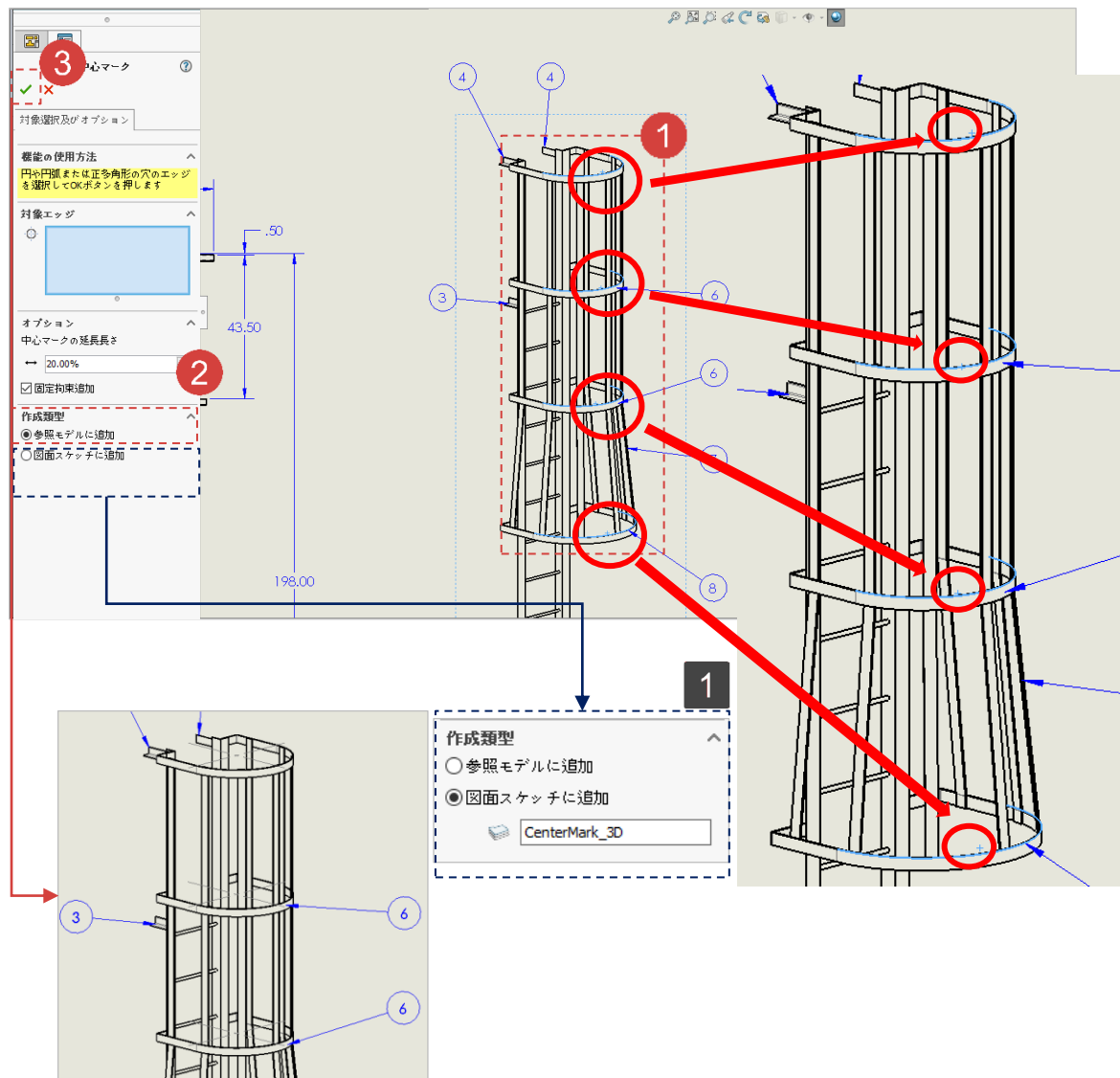
※例題ファイルは、SpeedWorksホームページのお客様サポート
 >資料室 (<http://www.speedworks.info>) でダウンロードできます。

3D中心マーク_中心表示の追加

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(1)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- ① 3D中心マークが活性化されている状態でイメージに表示した赤色の円の中にあるエッジ(青色)を選択します。
- ② [作成類型]の領域で参照モデルに追加するか、図面にスケッチタイプで追加するかが選択できます。この例題では参照モデルに追加するために[参照モデルに追加]を押します。
- ③ [OK] ボタンをクリックして3D中心マークを追加します。

- ① [図面スケッチに追加]をチェックする際、追加するレイヤーが選択できます。レイヤーを指定しなくても作成できます。



3D中心表示_参照モデルの確認

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① 図面を終了せず、例題ファイル中Ladder-Cage2.sldprtを実行します。

② 部品ファイルを実行してフィーチャーマネージャー(Feature Manager)を確認すれば下に CenterLine-3Dが追加されていることがわかります。CenterLine-3Dをドラッグして選択すれば、モデルファイルに追加された中心表示線が確認できます。

